

本プレスリリースは 2019 年 11 月 19 日ドイツで配信されたレポートの日本語版です。

リモート接続ソリューションの TeamViewer 『TeamViewer Connect 2020』導入でサブスクリプション・ライセンス(年間契約)へ

【2019 年 11 月 22 日】リモート接続ソリューションの TeamViewer ジャパン株式会社(以下、チームビューワー)は、最後の年次版となる『TeamViewer Connect 2020』を発表しました。

既存版との違い

『TeamViewer Connect 2020』は、これまでのバージョン(ライセンス 14 版以前)をつなぐ「ブリッジ版」となります。これにより、互換性が高まり、異なるバージョンの垣根が取り払われることとなります。従って、今回の更新をもって『TeamViewer』のソフトウェアのライセンスに関しては、従来の買い切りの永続ライセンスからサブスクリプション・ライセンス(年間契約)モデルに移行することとなります。

互換性について

互換性が高まることで、ユーザーはチームビューワーが過去に発表した全てのバージョンの機能を享受することができ、さらに既存のオペレーティング・システムを将来も利用することが可能となります。年間ベースのサブスクリプション・ライセンス・モデルによって毎年のバージョン更新が不要となり、ユーザーは使用するバージョンに関係なくあらゆる機能が互換性をもって利用できるようになります。

新機能の自動更新

今後は年 1 回の更新を待たず、追加料金なしで自動的に最新機能のアップデートが可能となります。サブスクリプション・ライセンスへの移行により、ユーザーはいつでも新機能を安定した環境で利用することができます。

セキュリティ

今回の更新によって、今後は定期的にセキュリティパッチを取得することも可能になります。例えば変化の激しいデジタル環境でデータ保護やセキュリティ上の不具合改善においても、セキュリティパッチは重要な役割を果たします。

チームビューワーの CEO オリバー・スタイルは次のように述べています。「TeamViewer はこれまでにコネクティビティ・プラットフォーム、リモートアクセスとサポート、リモートモニタリング、更には IoT や AR 機能など様々なソリューションを提供してきました。そうしたサービスをユーザーの皆さまにご活用いただいたお陰で今年は更なる飛躍を遂げた一年になりました。『TeamViewer』を信頼くださるユーザーの皆さまに感謝申し上げます。今後もハイパーコネクティビティという新しい時代に相応しいデジタルソリューションを提供して参ります」。

###

TeamViewer (チームビューワー)について

2005 年ドイツで創業。同時オンラインデバイス数 4500 万で世界最大のアクティブユーザー数を誇るリモート接続ソリューション『TeamViewer』を提供するグローバルプレーヤー。約 800 名の社員で世界的に事業を展開、欧州、アフリカ、中東では既にトップシェアを持つ。2018 年に日本法人「TeamViewer ジャパン株式会社」を設立。

<https://www.teamviewer.com/ja/>